

あきはくはつものがたり

令和4年9月4日
発行：秋葉区自治協議会
編集：広報部会

アキハスムプロジェクト

Facebook、ホームページでも情報発信中！



もち麦のPR



クマに気をつけよう



【プロフィール】
ジチキョー1期目
趣味は山登りと手芸

作者：necoco
新潟まんが事業協同組合「ガタまん」に所属。イラストやマンガのご依頼をいただいて制作しています。海洋生物や動植物が好きです。



「アキハスムプロジェクト」のお揃いのポロシャツを着用して、秋葉区のPRをしながら活動しています。



編集後記

秋葉区自治協議会の委員として4年目が過ぎようとしています。これまでに所属する第2部会の活動に加え、幸福度調査部会、ひな・お宝めぐり部会などに参加してきました。さらに昨年から自治協議会の広報紙、本紙「あきはくはつものがたり」の作成に携わり、発行までのプロセスで私自身が心と体の活性化を実感しています。社会的に高齢者と呼ばれる年齢（65才）を過ぎて、これからは与えられた自由な時間をどうデザインしていこうかとわくわくしています。私にとって自治協議会での経験はこれからの地域活動に活かされていくものと確信しています。
＜長谷川 啓子 記＞

募集しています！

かわら版や自治協議会活動についてのご意見、ホームページに掲載してほしい情報を募集しています。住所・氏名・連絡先をご記入の上、下記自治協議会事務局宛にて郵送、FAX、またはメールでお送り下さい。

〒956-8601 (住所記載不要)
秋葉区役所 地域総務課 企画グループ
FAX / 0250-22-0228
メール / chiikisomu.a@city.niigata.lg.jp



（会 長）4月より区長に着任されましたが、抱負をお聞かせください。

（区 長）秋葉区は次の時代に向けた変革期にあると思います。市民の皆さんと協働し、子育て・共働きのしやすさなど、より快適な暮らし環境づくりをしたいと思います。

（会 長）住みやすいところは秋葉区の特徴ですし、そこをもっと磨くというところで、強烈な区長のリーダーシップを発揮していただきたいと思います。

（会 長）秋葉区にお住まいと聞いていますが、区長からご覧になって、秋葉区は今と昔でどのように変わりましたか。

（区 長）10年ごとに変革期を迎えていると思っています。道路や駅などインフラを中心に、暮らしやすさが磨かれてきました。一方で、特に子育て・共働きなど、女性目線での暮らしやすさを磨く取り組みが少なかったように思います。その意味で、Akiha きらきら女子に期待しています。彼女たちと一緒に、秋葉区がもっと暮らしやすくなるための取り組みをしたいと思います。

（会 長）最近の地域を見ていると、暮らし目線、特に子育て中のお母さんが暮らしやすいところが伸びている気がします。しかし、去年の暮らしやすさに関する意識調査では、子育てに関する課題が強く浮き彫りになりました。課題解決に向けて、これからさらに期待しています。

（会 長）区長が考える秋葉区の魅力とは何でしょうか。

（区 長）間違いなく、人の魅力です。元気な人、周りを巻き込んで活動している人は、実は個性的でこだわりが強い。しかし、今は時代がそういう人を必要としているのではないかと思います。

（会 長）個性的な人々が新しい時代を切り拓いていくのは、世の常だと思います。

（区 長）そういう方たちが特別視されずに多様性や個性を発

揮できる環境を作ることが、地域の持続可能性、さらに秋葉暮らしが面白くなる鍵だと思います。市民活動や市民の自発的な取り組みを、もっと引き出したいと考えています。

（会 長）コロナ収束後の秋葉区について、ご意見をお聞かせください。

（区 長）暮らしやすさを磨くために、女性がもっと活躍し、女性の意見がまちづくりに反映される仕組みを作りたいと思います。また、若者や移住された方々などの新たな視点によるオシャレな取り組みを仕掛けるプレーヤーがどんどん出てきて、とがった人たちがつながって活躍できる場を市民と協働で作ることや、そこに女性がもっと関わられるようにしたいと思います。

（会 長）女子目線をまちづくりに生かしたいというご発言がありました。Akiha きらきら女子の活動について思い描いていることはありますか。

（区 長）子育て・共働きがしやすい環境づくりについて、女性目線での提案を期待しています。きらきら女子で話し合い考えたことが実現し、そこに多くの女子が加わることで、そこから起業・活動する女性が生まれるプラットフォームになってほしいと思います。

（会 長）最後に、区長から一言お願いします。

（区 長）「人が輝く秋葉区へ」を目標にしたのは、区民自らが面白いこと、楽しいこと、ときには課題を解決することで、結果として自分の暮らしを磨くこと、高めることに繋がるからと考えているからです。ぜひ、多くの区民の皆さん、関係者の皆さんからの参加をお願いいたします。

（会 長）メッセージは、秋葉区民として受け止めさせていただきました。自治協議会でもしっかり区長をバックアップするとともに、言いたいことはまとめてお伝えしたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。

自治協議会各部長に今後の抱負を伺いました！



第1部会



部会長
横山 喜規

きらめきサポートプロジェクト

本年度第1部会では「きらめきサポートプロジェクト」を実施しており、4つの事業を採択しました。「アキハフジンロックフェスティバル～ミモザパーティー～」 「秋葉地区周辺案内地図設置事業」 「クマ・イノシシなどの大型獣から命を守る安心安全なまちづくり」 「ぎゅっともっとずっと秋葉区フォトコンテスト『わたしのすきな秋葉区』」を各団体と協働でそれぞれ実施していきます。「きらめく秋葉区」に向けた4つの事業を宜しくお願い致します。

第2部会



部会長
蓮沼 美宣

生活交通支援と防災活動の取組

令和4年度の部会活動は2つの活動に取り組みます。
1つ目は公共交通機関の利用促進事業です。満日地区をモデルに生活交通支援の仕組みを構築し、買物等の送迎をする活動です。また、秋葉区内を運行しているバス等の「秋葉区公共交通ガイド」を発行し、利用促進に努めます。
2つ目は防災関係の活動です。「秋葉区防災手帳」の刷新と防災講演会に取り組む計画です。

第3部会



部会長
花水 真由美

いよいよ始まる Akiha おとな大学

昨年度、プレ開催を予定していた「Akiha おとな大学」ですが、コロナ感染者増加を受け、延期を余儀なくされました。そこで、これからの活動はコロナに負けない作戦をということで、二つのプランを計画しました。
一つ目は、秋葉区の特産品「もち麦」を使って、自宅で作ってもらう「“おうち de もち麦 cooking”」を企画し、食生活改善推進委員の調理の様子やもち麦の歌や踊りの楽しい動画を配信します。
二つ目は、今年度の秋以降に予定している“里山トレッキング”です。人数を最小限に絞り、里山の情報満載のガイド案内を付けた内容です。併せておとな大学ならではの「秋葉区の歴史を学ぶ講座」を開催します。秋葉区民の皆様から多くの応募をお待ちしております。

秋葉区の伝統行事、「ひな・お宝めぐり」

感染症の拡大状況がまだまだ心配な 2021 年度ではありましたが、秋葉区ひな・お宝めぐりは、部会の皆さんをはじめとする区民の方々の尽力、また幼稚園から企業に至る約 130 団体のご理解とご協力により予定通り開催することができました。今や秋葉区の伝統的展示イベントともなりました「つるし飾り」を今年度も実施したいと考えております。この「ひな・お宝めぐり」で各コミ協、商店街の活性化を図るとともに、区内はもとより区外からの人の流れを生み出す、秋葉区の新春行事として益々発展、育成させていきたいと考えております。

ひな・お宝めぐり部会



部会長
飯村 菜穂子

自治協議会からのお知らせ



秋葉区自治協議会では本会議、各部会を傍聴することができます。定員10名。直接会場へどうぞ。

【今後の会議開催日程】 ●本会議 9月30日(金) 13:30～ 区役所6階 601・602会議室
※秋葉区自治協議会の開催日、会場は、当月の「あきは区役所だより」 およびホームページをご確認ください。

新 自治協委員を紹介します！



歴史講座で講師活動

自治協活動は、新たな出会い

突如、小須戸コミ協会長の役が回ってきて、その関連で自治協にも顔を出すことになりました。活動内容を全く理解できていない状態で、5月から参加しています。会議では、行政の皆様と忌憚のないやり取りなどがあって、ある種新鮮味を感じています。退職後、十年余り、個人的な趣味を中心に、気ままに過ごしてきましたので、自治協はまた別の活動という感じですが、折角の機会、少し若返って、多少なりとも貢献できるように取り組んでいきたいと思っています。

小須戸コミュニティ協議会
木村 宗文



小須戸「まちセンマルシェ」を主催

支え合いのしくみづくり会議
生活支援コーディネーター
市橋 栞

新潟市秋葉区社会福祉協議会
坂井 真由美

誰もが安心して暮らすこと のできる地域づくりを応援します！

緊急情報キット



ふれあい福祉サービス



地域福祉実践報告



秋葉区社会福祉協議会は、社会福祉法で“地域福祉の推進役”と規定された営利を目的としない民間の団体です。社協の介護部門はもちろんのこと、保健・医療・福祉の関係者、NPO、行政、そして何より地域の住民の皆様と協力し、「一人ひとりの生活を支える」とことと同時に「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」をすすめています。

また、新潟市より委託を受け、4名の生活支援コーディネーター（支え合いのしくみづくり推進員）が配置されております。協議体（支え合いのしくみづくり会議）と協力しながら、私たちのまちをより良くしていくために、地域の様々な活動をつなぎ組み合わせる調整役をしており、ニーズに合わせて地域活動を紹介したり活動をつくるお手伝いをさせていただいております。これからも地域の皆様と一緒に地域福祉を推進していきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

子ども食堂で提供したお弁当



公募委員
五十嵐 幸子

支え合って暮らす町っていいな

今年4月から公募委員として活動を始めました。
私は管理栄養士として40年ほど医療・福祉関連施設で働いていました。仕事の中でも高齢者の方に向けた「ふれあい昼食会」や「地域の茶の間」へのランチ提供などをしていましたが、子どもの貧困があることに驚き、5年前に同僚と『子ども食堂』を立ち上げ、皆さんに助けられて新潟福音キリスト教会さんで毎月第2金曜日に夕食を提供しています。（現在はお弁当とお菓子等の提供）
気候変動や新型コロナ拡大で暮らしにくい今ですが、住む人に優しい町、秋葉区の架け橋としてお役に立ちたいと思っています。

ラジオ版「あきはくはつものがたり」

毎月第2水曜日 12:00～
（再放送 第2水曜日と同じ週の土曜日9:00～）

『クリック！秋葉区』内「自治協通信」

秋葉区自治協議会本会議の協議内容をお知らせしています。
ラジオチャット エフエムにいつ 76.1MHz
毎月第2金曜日 10:07～